

那覇市地域公共交通計画（素案）に対する市民意見及び回答

募集期間：令和 7 年 2 月 7 日（金）から 3 月 10 日（月）

意見者 2 人、意見 7 件

NO.	市民意見内容（要約）	回答	対応内容（ページ番号）
1	松川 1 丁目～繁多川 1 丁目間の道路 開発が少しずつ進んではいる様子はあるが、可能であればもう少し優先的に進めてほしい。歩行用道路が少なく、歩行者と車やバスが 1m 未満の距離ですれ違っており危険を感じる。	ご意見を踏まえ、那覇市において引き続き道路整備に取り組みます。	—
2	L R T について 公共交通車両専用の道路を設ける事はかなり賛成である。しかし、路面電車を導入するという事に関しては疑問を抱いている。車両自体は既存のバスで良いのではないかと。バスならばそこまでインフラ整備に時間とコストがかからず、かつ汎用性が高いと思う。路面電車がバスよりも優れている点を機会があれば説明してほしい。	本計画における L R T の役割としては、市内移動における新たな基幹軸として、周辺市町村とのネットワークの連続性を確保しつつ、市内の東西方向、南北方向の移動を担う交通手段と位置づけることとしております。 施策 1-4 『基幹的公共交通（LRT）の導入』において、各種調査や検討を行うこととしており、関係機関との協議や市民との意識醸成等、検討を進めてまいります。	P21 交通手段の役割に L R T の役割 P29 施策 1-4 基幹的公共交通（LRT）の導入
3	「周辺市町村への人口流入」において、通勤通学や買い物等で那覇市に流入する交通量は増加することが見込まれるとあるが、具体的な数字を示すとともに、那覇市内の交通の占める割合を明確にする必要があるのではないか。	那覇市に流入する交通量について、国勢調査の結果を基に、那覇市の通勤通学流動や公共交通分担率等の現状を記載します。	P5 通勤通学流動の現状 P11 公共交通分担率

那覇市地域公共交通計画（素案）に対する市民意見及び回答

NO.	市民意見内容（要約）	回答	対応内容（ページ番号）
4	課題の内、路線バスの定時性が再掲されているところであるが、路線バスの定時性に寄与するバスレーン等の今後の方針（現規制のバスレーン等）についても示す必要があるのではないか。	施策 2-1「広域交通との連携」及び施策 3-1「路線バス利用環境の向上」において、バスレーンの延長などによる定時速達性の向上等バスの利用環境向上に取り組むこととしております。	P30 施策 2-1 広域交通との連携 P32 施策 3-1 路線バスの利用環境向上
5	公共交通の利用環境の向上等による利用促進について、モノレールの利用環境の向上については、バスとの連携接続も示すべきではないか。	施策 3-3『モノレール利用環境の向上』において、路線バス等との乗継強化や案内サインの設置等、利用環境の向上策を実施することとしております。	P34 施策 3-3 モノレール利用環境の向上
6	市内の公共交通は多くの那覇市外居住者や観光客が使用している現状からも、市外利用者や観光客の満足度や利用率も調査する必要があるのではないか。	市外居住者や観光客等の来訪者の動向や公共交通の利用率について、既存の調査による現状を記載します。	P5 通勤通学流動の現状 P6 那覇市への県外からの来訪者の流出入先 詳細は資料編（資料 32）に記載
7	市内の話だけではなく、市に関係する都市圏の現状や将来計画も含めて市の計画として整理する必要があるのではないか。	方向性②『広域的な公共交通ネットワークの連携』において、中南部都市の拠点や北部圏域とのネットワークと連携し、市内外の公共交通による移動を支えることとしております。	P23 方向性②『広域的な公共交通ネットワークの連携』